



愛別町のいきるを支える取組

1 目指す姿

自殺は、その多くが追い込まれた末の死であるとされています。自殺の背景には、精神保健上の問題だけではなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などのさまざまな要因があることが知られています。

自殺対策の本質が「生きることの支援」にあることから、自殺リスクを低下させる取組を社会全体で総合的に推進することで、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指します。

また、本町では、自殺対策は「いのち」を守る支援だけではなく、「安心して生活できること」や「いきいきと生きること」への支援も自殺対策につながると考え、さまざまな『いきる』と連動して包括的に「いきる支援」を推進することとし、目指す姿を以下のとおり定めます。

愛別町自殺対策計画の目指す姿

いのち・くらし・いきいき
いろんな「いきる」を支えるまち“あいべつ”

2 愛別町の自殺対策の4本柱

自殺総合対策大綱では、自殺総合対策の基本方針として、以下の5点が掲げられています。

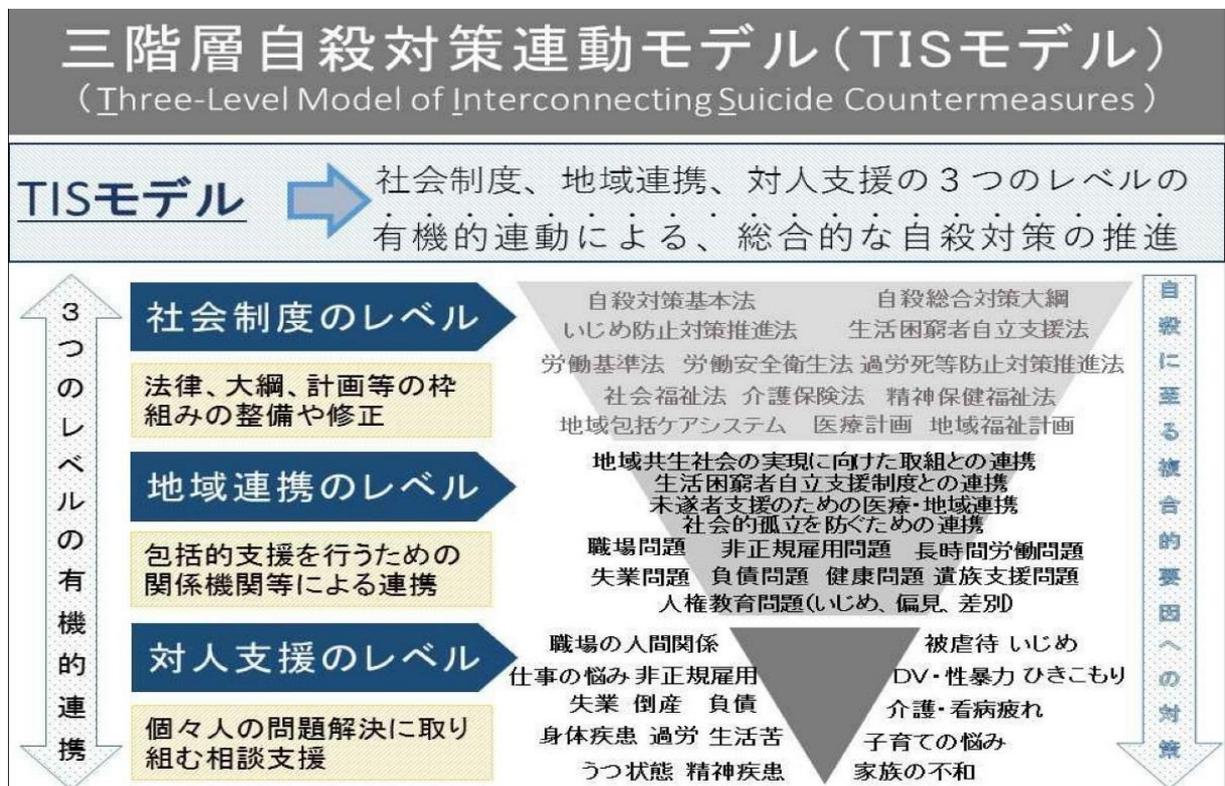
1. 生きることの包括的な支援として推進
2. 関連施策との有機的な連携による総合的な対策の展開
3. 対応の段階に応じたレベルごとの対策の効果的な連動
4. 実践と啓発を両輪として推進
5. 関係者の役割の明確化と関係者による連携・協働の推進

本町では、町の実態や町民アンケート調査結果を踏まえ、かつ自殺総合対策大綱の基本方針に則り、「いのち・暮らし・いきいき いろんな『いきる』を支えるまち“あいべつ”」を目指して、主に以下の4つの施策を展開していきます。

- 《愛別町の自殺対策4本柱》
1. 町民の「気づき」を根付かせる取組の推進
 2. 「気づき」「つなぐ」人材の育成
 3. 地域における「つながり」の強化
 4. さまざまな『いきる』と連動した「いきる支援」の推進

自殺対策は、社会全体の自殺リスクを低下させる方向で、「対人支援のレベル」、「地域連携のレベル」、「社会制度のレベル」、それぞれにおいて強力に、かつそれらを総合的に推進することが重要です。

本町では、目指す姿に向かって、自殺対策基本法をはじめとする「社会制度」の下で、普及啓発、人材の育成、体制づくりを軸として、「対人支援」及び「地域連携」を連動させながら推進していきます。



資料：自殺総合対策推進センター

【施策1】町民の「気づき」を根付かせる取組の推進

本町では、自分自身やまわりの人の異変に「気づく」ための取組を推進し、「気づきあえる地域」を目指します。悩みを抱える人が発するSOSや異変に気づく役割は、誰もが担うことができます。子どもから高齢者まで、さまざまな世代へ「気づく」ための啓発を行うことで、家族や友人、隣近所の人などの異変に早く気づき、対応することが可能となります。本町では、「みんながゲートキーパー」となることを目標とし、「気づき」や「ゲートキーパー」に関する啓発活動を展開していきます。

また、悩みを抱えた時やストレスを感じた時に、誰かに相談したり、助けを求めることの大切さを伝えることは、自殺対策の啓発として重要な取組の一つです。町民とのさまざまな接点を活かして、相談機関等に関する情報を提供するとともに、町民がこころの健康について理解を深められるよう、講演会等を開催します。

取組名	「いきる支援」取組内容	担当課
「気づき」を町民に広めるための取組	<p>●さまざまな機会を活用して、こころの健康や相談機関に関するリーフレット等で自殺予防に関する情報提供に努めます。あらゆる機会を通じて、町民に対する啓発と周知を行うよう全課において努めます。</p> <p>リーフレットの設置場所【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙投票所内 ・会計窓口 ・税町民課内 ・診療所待合室 ・健診会場内 <p>リーフレットを配布する事業【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入届出時 ・ほうらい大学 ・ひまわり学級 ・チャレンジデー ・農業者年金の相談 ・農業委員会総会 ・応急手当講習 ・健康教育（婦人部、老人クラブ等） ・母子健康手帳発行時 ・新生児訪問時 ・献血事業 ・地域ケア会議 	全課

取組名	「いきる支援」取組内容	担当課
自殺予防週間（9月）と自殺対策強化月間（3月）と連動した取組	●総合センター図書室で、「いのち」や「こころの健康」に関する書籍紹介や展示を行います。	教育委員会
	●広報やホームページで、こころの健康に関する啓発を行います。	保健福祉課
こころの健康づくりに関する講演会等の開催	●自殺対策（生きることの包括的な支援）に関連することをテーマとした研修を実施するように働きかけます。 ・青少年育成研修の集い ・保育士等研修会	教育委員会 幼児センター
	●児童生徒のSOSの出し方に関する教育を実施するように働きかけます。 ・心と命の授業	教育委員会
	●こころの健康や自殺に関する正しい知識等について理解を深めるための講座を開催します。また、町民サービスや職員のメンタルヘルス向上を図るため、町職員研修としての実施や参加を呼びかけます。 ・こころの健康づくり講座	総務企画課 保健福祉課

【施策2】「気づき」「つなぐ」人材の育成

さまざまな悩みや生活上の困難を抱える人に対して、早期の「気づき」が重要です。「気づき」に対応できる人材の育成は、自殺対策を推進する上で、基盤となる重要な取組です。

本町では、相談支援に関わる職員だけではなく、「役場の全職員」がゲートキーパーとしての自覚を持ち、町民のSOSにいち早く気づき、速やかに関係機関と連携や支援ができるよう、職員を対象とした研修等の機会の充実を図ります。

また、行政や関係機関の人材育成の推進と同時に、誰もが身近な人の悩みや問題に気づき、寄り添うことができるよう、町民を対象とした研修を充実させます。

取組名	「いきる支援」取組内容	担当課
「気づき」「つなぐ」人材の育成	●どんな相談に対しても相談者に寄り添いながら支援する役割を担っていけるよう、町職員を対象にゲートキーパー研修を開催します。	総務企画課 保健福祉課
	●町民や団体等の要請に応じて、ゲートキーパー研修を出前講座として実施します。	総務企画課 保健福祉課
	●身近な地域で支え手となる人材を育成するため、町民を対象にゲートキーパー研修を実施します。特に、以下の対象にゲートキーパー研修の受講を推奨します。 ・地域おこし協力隊員 ・学校教職員 ・学童保育指導員 ・幼児センターの保育士や幼稚園教諭等 ・子育てサポートのびのび援助会員 ・日赤奉仕団 ・民生委員、児童委員 ・保護司 ・生活支援コーディネーター ・ケアマネジャー	総務企画課 教育委員会 幼児センター 保健福祉課
	●ゲートキーパーの受講者を対象に、より理解を深め、実践につなげることを目的に、専門研修としてフォローアップ研修を実施します。	保健福祉課
日々の活動の中で寄り添いながら見守る人材の育成	●委託業者等に対し、ゲートキーパーに関するリーフレットの配布や研修を案内します。 ・町営バスの運行 ・蔵ら ・スクールバスの運行 ・共生型交流館ぼんて ・老人福祉センター ・高齢者生活福祉センター ・グループホームらびい	総務企画課 産業振興課 教育委員会 保健福祉課

【施策3】地域における「つながり」の強化

自殺対策は地域全体で取り組むことが重要で、関係機関の「つながり」を強化する必要があります。そのため、自殺対策に特化した組織だけではなく、他の目的で地域に展開されている組織との連携も含まれます。

本町では、自殺対策に関連する組織の他、職域と連携して自殺対策を推進していきます。地域だけではなく、職域においても「気づき」を増やし、あらゆる機会を通じて「いきる支援」を推進していきます。

取組名	「いきる支援」取組内容	担当課
愛別町いきるを支える連携会議	●町の自殺対策を各部署と連携し、総合的かつ効果的に推進するため、副町長及び全課長等で組織する連携会議を開催します。計画の推進状況や目標の達成状況について確認と協議を行い、その結果を施策に反映させ推進します。	全課
役場組織内の連携システムの構築 【今後検討予定】	●支援が必要なケースの問題解決に向けた取組を進めるため、関係部署が連携して支援の検討を行い、生きることの包括的・継続的な支援を提供します。	全課
地域のネットワーク会議を活用した「いきる取組」の推進 【今後検討予定】	●地域・職域健康づくり推進事業「事務打合せ会議」において、こころの健康づくりや自殺対策に関する情報共有や意見交換を行い、職域での自殺対策の推進を図ります。職域連携を通じて、「気づき」を地域や職域に広めます。	総務企画課 保健福祉課 【協力団体】 JA 上川中央 愛別商工会

【施策4】さまざまな『いきる』と連動した「いきる支援」の推進

自殺対策は「いのち」を守る支援だけではなく、「安心して生活できること」や「いきいきと生きること」への支援も自殺対策につながると考え、町の事業を総動員して「いきるを支える」取組を展開します。詳細は参考資料【いきる支援関連施策一覧】を参照ください。

3 目標値及び目標指標一覧

国は平成38年までに、自殺死亡率を平成27年の18.5と比べて30%以上減少させ、13.0以下とすることを目標としています。

本町では、平成21年から平成28年において、平均して毎年1人が亡くなっているという現状があります。誰ひとり自殺に追い込まれないための対策に取り組む必要があり、本計画が終了する平成35年（2023年）の目標値を、年間自殺死者数の平均値が0人となることを目指します。

その他、目標指標については以下の通りです。

《大目標》

目標指標	現状値 (H30)	目標値 (H35)
年間自殺死者数の平均値	1人 ^{※1}	0人

※1 平成21年から平成28年の自殺死者数の平均値

《施策別目標》

目標指標	現状値 (H30)	目標値 (H35)
【施策1】 町民の「気づき」を根付かせる取組の推進		
ゲートキーパーの活動について知っている町民の割合	9.7% ^{※2}	20%以上
地域の相談機関を「知らない」と回答した割合	37.9%	20%以下
「気づき」を町民に広めるための取組の回数	2回/年	10回以上/年
こころの健康づくり講座の開催	1回/年	1回/年
【施策2】 「気づき」「つなぐ」人材の育成		
ゲートキーパー養成数（実人数）	102人	130人 ^{※3}
ゲートキーパーフォローアップ研修	1回/年	1回/年
【施策3】 地域における「つながり」の強化		
いきるを支える連携会議の開催	—	1回以上/年
地域・職域健康づくり推進事業と連携した、こころの健康に関する取組の実施	—	1回以上/年

※2 活動について知っている・研修に参加したことがある・実際にゲートキーパーとして活動したことがあると回答した割合の合計値

※3 新規受講者が年間5人程度増える見込で算出